

研修名 新規採用者研修

令和元年5月10日(金) 10:00~16:00

講演・ワークショップ

「保育における環境構成」「子どもとの関わり」

講師 大阪総合保育大学 大方 美香 氏



## 1. 講演要旨

### 1) 保育における環境構成

- ①私自身の存在も環境の一つであることを認識することがとても大切である。その為には受け身ではなく咄嗟に子どもに応答できるよう日頃から意識して子どもや保護者、先輩保育士と関わるようにすることが大切である。そして、自身がどういう人間か理解がないと自身の及ぼす環境への影響がわからない為、自身を知ることも大切である。その上で、子ども達の為に保育をすることを忘れず、自身をコントロールして保育士としての軸がぶれないように職務を全うする事がとても重要である。

### 2) 子どもとの関わり

- ①保育士は上手に言葉で説明できない子どもの通訳をすることが一番大切である。その為には観察がとても重要である。
- ②担当クラス内の子どもを思い出す際、最後に名前が挙がった子どもはどんな子どもなのか、考えてほしい。存在がない、気付いてもらえないということが子どもにとって1番苦しいことである。自ら寄ってこない子ども、自分である程度なんでもできる子ども等々とちゃんと関わっていかないといけない。目と目を合わせて名前を呼んでもらって少しの間でも関わろうとすることが大切である。
- ③生活環境が現代は特に家庭毎に違う為、背景を知らないと子ども理解につながらない。具体的にはスマホの登場で声に出すコミュニケーションが減ったことで、子ども達の思いの伝え方にも変化がある。保護者対応でも、必要なことの為、多様性を受け止めることが大切である。

### 3) ワークショップ

- ①KJ法で色水遊び、砂遊びについて意見を出し合う。他グループの成果を見学する。
- ②どういう環境構成が必要なのか、どういう要素が混じっているのかを考えて、色んな方面から保育を考えられるように思考のトレーニングを行った。

- ③子どもの遊びには繰り返し遊べる工夫が必要である。それは年齢と共に変化するもので、無理にではなくやりたいを引き出すことが重要である。遊びの中で身体的な操作性や他運動機能の向上、思考力、見通しを持つ力、記憶力などを伸ばしていく。机上の勉強ではなく遊びの中で気づき、発見、経験をし、不思議や疑問を持つことが、子どもにとってはとても貴重な財産になる。探究という夢中度を表すキーワードが幼児教育にとってとても大切である。
- ④保育では、現状をメモすることがとても大切である。何か月たってからでもメモがあれば振り返ることが出来る。今何を楽しんでいるのか、今何を体験しているかを考えて観察していくと、子どもの見え方が変わってくる。

## 2. 感想

新人保育士として働きだしてから、丸1か月经ち悩みも増えだしたときに大方先生の講義を受けることが出来て本当によかったです。私も環境の一つ、と最初に仰っていただいたときに身の引き締まる思いになりました。主の講義もとても勉強になりましたが、先生の失敗談でほっこりしたり、エピソードの中で普段の保育ですぐに実践できそうな『言葉で説得できない事は多いから、同じ行動をとることもおすすめよ』という様なアドバイスもあり、どの時間もとても大切でとても印象深い講義でした。

特に、上のまとめにはまとまりきらなかったのですが、記憶には偏りがあってその傾向に気付くことが大切という話がとても印象的でした。先輩保育士の方が子ども達の様子をマイノートにメモされているのですが、私はノートを買ったまま真っ白の状態が続いていたので、先輩や先生を見習ってメモに残すようにして、メモをすることで、自分の意識の偏りもセーブしていけたらいいなと思いました。

講義を受けてからレポートとしてまとめるまで少し時間がありましたが、先生の仰っていただいた言葉がちゃんと理解できていないと思う場面や、やりたい理想像はあるのにできない自分に直面することが多く、私自身まだまだ苦しい時は続くと思います。ですが、なりたいと思って頑張って取ったこの資格を大切に、少しずつ一人前の保育士になれるようコツコツやっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

(記録 社会福祉法人ひまわりっこ ひまわり保育園 太田 早希)

